

令和6年度旭川未来会議2030外国人分野 分野別会議 会議録

- 1 開催日時 令和6年11月16日（土） 午後1時30分～午後4時
- 2 開催場所 旭川市国際交流センター交流ラウンジ
- 3 出席者（参加者） ※敬称略，五十音順
アルフィアン・ヒダヤット，キラン・チャンド，キム・ジョンヒョン，
ケンドール・バラス，ジョン ダニエル・マビランガン，スス・モー，
チャン・ハンナ，チョウ・ヒョンサン，デイリー・スパングラー，
ピーター・イシュトワン・ゲル，レイチェル・ホー，劉佳遙，臧晨璐
- 4 出席者（市側） 今津市長
(運営事務局)
総合政策部 土岐市長室長
都市交流課 小原課長，西宮主幹，今田主査，富田
(統括事務局)
広報広聴課 吉田課長，乙坂係長，吉岡
- 5 会議の公開・非公開 公開
- 6 傍聴者 8名（市民等8名，報道機関0名）

7 会議概要

(1) ワークショップ

「How Do You Feel About Life in ASAHIKAWA」

第1部

事務局から会議の説明及び旭川市の紹介の後，自己紹介（氏名，国籍，旭川の印象について紹介）を行った。その後グループごとにふせんを使って意見を出し，グループとしての意見のまとめを行った。

第2部

第1部で出された意見をグループごとに発表し，意見交換を行った。

(1) 「旭川の印象」について

(市長)

旭川に来る前の印象と，来てからの印象を聞かせてほしい。

(参加者)

- ・ 最初の冬までの印象は良かったが，冬になってからは何度も転んでしまった。車がなかったのでタクシーで毎日通学していたが，免許を取り車を購入してから，印象が急に変わった。以前は学校まで1時間ほどかかったが，車だと20分くらいで，まちの良さを感じられるよ

うになった。

- ・ 旭川に来る前は東京に住んでいたのに、交通の便が良かった。旭川は田舎なので、そういったところが大変になるかなと思っていたが、現在国際免許の切替えをしており、車でドライブできると少し便利になるのかなと思っている。暖かいところの出身なので、旭川のような寒い地域に住むのは不安だったが、今はなんとかかなりそうかなと思っている。
- ・ 最初は全てが新しく、今まで住んできた場所とも違うと思ったが、時間が経てば経つほど、旭川は自分の故郷のハンガリーに似ていると感じ、とても居心地が良い。
- ・ 最初に来たときはすごく寒い場所という印象。まずは春と夏を経験し、これからの冬に緊張しているが、思ったより友人ができたので、何かあれば友人や同僚に相談することができるので安心である。
- ・ 最初は東川町に1年くらいおり、何もないという印象だったが、旭川に来てからは思った以上に色々あるなと思った。ただ、あちこちに散らばっている感じがある。
- ・ 母国でも寒いところに住んでいたが、最初旭川に来たときは母国よりもっと寒く感じた。雪が多く、通勤路の橋の上には雪があるので歩くときに大変だと感じる。
- ・ 旭川に来たのは初めて。生活していると、お店やサポートなど思った以上に住みやすかった。私の故郷は村から都会に発展したような感じで雰囲気がざわついているが、ここは落ち着いている。
- ・ 来て最初にびっくりしたのは、空気が美味しかったこと。冬になって雪が降り、最初はすごいと思って雪遊びをしたりして雪を楽しんでいたが、最近は邪魔だと感じるようになってきた。日本に来る前は日本人は静かだと思っていたが、お酒が入ったらそんなことはなく、安心した。
- ・ 旭川に来る前は香港の大学に通っていた。外国人として外国に住むのは日本で2か所目であるが、旅行で北海道に来たときは、言語が理解できるなら住みやすいかなと思った。日本に来た当初は車がなくて、交通費が高く、交通が不便で、旭川に良いところがあるのは知っていたが、行くことができなかった。旭川はゴミを捨てる日が多いのが良い。
- ・ 初めて来日したのは12年前の教育大への留学がきっかけだった。「ここに住みたい」と思い、一目惚れだった。当時は、旭川市民は温かくて優しいと思った。一旦ほかの地域に住み、改めて旭川に住むことになって、やはり人が温かくて優しいと思った。同僚は日本人しかおらず、日本人は外国人の悩みに詳しくない。説明しながら助けてもらっている。
- ・ 旭川に来る前は冬が寒く、美味しいものがある、観光地に近いなどの印象だった。旭川に引っ越してみると、思った以上に住みやすいと感じている。交通やお店の閉店時間が早いことなどが不便だが、旭川市民の優しさが一番印象的。職場の人や周りの外国人も優しく、外国人コミュニティに相談することができるので、分からないことはそこで解決できる。

(市長)

皆さんのお話を聞いていると、旭川は四季もはっきりしており、アクティビティもあり食

べ物も美味しいまち、人が優しいということで旭川の魅力を分かってもらえていると思うのですが、交通の便が悪いという話があった。

(参加者)

バスが1時間に1本は少ない。多くても1時間に2本しかない。

(市長)

皆さん同じ気持ちですか。

(参加者)

- ・ 車を持ってから急に生活の質が上がったので、車を持っている人は感じていないと思う。
- ・ 旭川に来てすぐ車を購入したので、不便は一切感じなかった。
- ・ まちなかを選んで住んでいるので、車がなくても生活できている。
- ・ まちなかに住んでいると比較的住みやすいと思うが、それでもこれから車を買いたいと思う。あった方が暮らしやすい。

(市長)

永山にお住まいの方が多いようなので、特に冬場はバスだと時間がかかると思う。雪が降ったら更にバスが遅れてしまうこともある。最終のバスが早いとか、始発が遅いなどはあるか。

(参加者)

春光台に住んでおり、最終のバスが午後8時45分なので、駅前などで遊ぶときは時間が足りないことがある。

(市長)

お店の閉店時間についてはどうか。

(参加者)

終業後に職場から食事に行こうと思っても、行きたいと思った近くの飲食店の閉店時間が午後5時などで、居酒屋やファミリーレストランしか開いていない。

(市長)

それは少し早いですね。イタリアでは開店時間が遅いなどはあるが、そういった意見は今回初めて聞いた。

(2)「休日の過ごし方について」

(主な意見)

- ・ 食事が美味しい(寿司、カフェ、お弁当屋さんなど)。
- ・ 旭川周辺の場所に行く、買い物(アウトドアショップ、リサイクルショップなど)。
- ・ 温泉に行ってみたい。
- ・ ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード)をしてみたい。

(市長)

雪質はアジアナンバーワンと言われている。

(参加者)

母国にもスキー場はあるが、雪質は悪い。旭川に来て、こんな雪もあるのかと思った。

(市長)

今日はオーストラリアからの参加者はいないが、ニセコが混んでいて予約が取れなかったりすることもあり、今年はオーストラリアからたくさん観光に来てくれる予定だ。ジェットスター航空が成田空港と旭川空港間で去年の12月から就航しており、オーストラリアの方は3、4か月前からどこに行くか決めるため、去年は間に合わなかったが、今年は関係者によるとオーストラリアの方の予約が相当入っているとのこと。

温泉といえばどこのイメージがあるか。

(参加者)

登別、層雲峡など。

(市長)

やはり露天風呂が良いか。旭川には良い銭湯がたくさんある。500円程度で入れるので、ぜひ近所の銭湯に行ってみてほしい。サウナ好きな方には、WBFホテルには温泉、サウナ、岩盤浴などがある。扇松園もサウナは良く、すごく気持ちが良い。地下水を沸かしているので肌にも良く、水風呂に入った後に蛇口の水も飲める。

(参加者)

しかもおそばもあって美味しい。

(市長)

まちなかの入浴施設はアートホテルやキャビンなどもある。

バーベキューなどは家の庭でやることが多い。神楽岡公園でもできるので来年チャレンジしてみてほしい。

(参加者)

皆さんほとんど賃貸で暮らしているので自分の家では絶対できないが、公園でのバーベキューは最高です。おすすめである。

(市長)

このメンバーでやっても良い。サウナ同好会やスキー同好会を作っても良いのでは。

ウ「情報収集について」

(参加者からの主な意見)

- ・ 旭川で何があるか、イベントを調べることが多い。
- ・ 大雪情報やバス情報をもっと知りたい。
- ・ 情報収集にはSNSやインターネットを利用している。

- ・ 暮らしの手続きに関する外国人向けの相談窓口やウェブサイトがあると良い。
- ・ 市役所の人との意見交換の場があると良い。
- ・ 旭川市には色々なサービスがあるが、そういうものがあることを知らない人が多い。

(市長)

何かイベントがあれば、そこに参加したいということですね。

先日の北口榛花さんのパレードは見に行ったか。

(参加者)

- ・ 仕事の関係で見られなかった。
- ・ あったことを知らなかった。

(市長)

やはり外国語でも情報発信しなければならないと感じる。普段情報はどのように仕入れているか。

(参加者)

- ・ 同僚に聞くのが一番早い。
- ・ まず外国語の情報がないことを想定しているので、日本語で検索している。外国語の案内がありますよ、という紹介が必要だと思う。
- ・ インターネットやSNS (Instagram, TikTok など) が多い。
- ・ 北海道新聞やライナー、食べログなども見る。
- ・ 母国のニュース媒体も見ている。

(市長)

SNSなどの情報も日本語が分かる人は良いが、まだ日本語を知らない人は分からないですね。

(参加者)

その通りだ。日本語が難しいと感じる人にとっては、友達や同僚からの口コミが非常に重要で、幸いなことに旭川市民は皆さん優しいので助かっています。

(市長)

勉強になった。

「アパートを探すのが大変」という意見もある。

(参加者)

- ・ 多くのアパートは「NOペット、NO外国人」という条件があり、かなり差別的である。一般的な賃貸のウェブサイトにはその条件は掲載されていないため、住めるかなと思って不動産屋に行き、大家さんに連絡すると外国人の入居はだめでした、ということが多くあり、大変困った経験がある。

- ・ 賃貸では、日本語ができないことが問題になることがある。日本語でコミュニケーションが取れることを伝える必要がある。

(市長)

最後に何か御意見はあるか。

(参加者)

- ・ 旭川に住む外国人は、ここ10年で約2.5倍になったとあったが、今後ももっと増えていくことが予想される。日本語ができる、又は来日する前に日本語を勉強する機会がなかった人が増えるのではないかと思う。その方たちが一番困る人たちだ。日本語ができる私たちでさえ苦労しているので、更に苦労してしまうのではないかと懸念している。そして、日本に住んだことがない人は、不愉快なことを感じたら、日本では普通のことなのかなと感じてしまう。何が良くて何が良くないこととされているのかについての常識がないので、そういう教育も必要である。また一方で、旭川の多くの日本人は外国人との交流がないため、自分の外国人に対する言動や行動が差別であることを一切認識していない。旭川市民に対してもそういった周知をし、認識を持っていただきたい。
- ・ 旭川では今、外国人の交流を国際交流員に依存している気がする。旭川に住んでいる外国人の全てを見ることはできないので、もう少し窓口を分けて、色々な場所に私たち外国人の話を聞いてくれる場所がほしい。

(3) 市長講評

本日は土曜日の貴重な時間に、本当に様々な貴重な御意見をいただいた。分かっていたこともあったが、ほとんど分かっていなかったこともたくさんあった。外国人の方から直接お話を聞いて、本当に勉強になった。感謝申し上げる。

意見の中には情報の問題があった。暮らしやイベントのことをもっと知りたいが、なかなか知る方法がない、また同時に私たちの情報も日本語が圧倒的に多く、外国人向けの情報が少ないということもよく分かった。国際交流委員会では「Asahikawa Info」という英語新聞を作っている。知らなかった方もいるようなので、アーカイブにして掲載するなど皆さんが検索できるようにしっかりやっていきたい。雪の情報の話もあったが、SNSを含めて情報の受発信をこれからもしっかりやっていきたい。

住んでいても様々な問題があることが分かり、これから観光客や留学生を含め、外国人が増えていくことが予想されるので、本日頂いた意見を参考にさせていただき、まちづくりに生かしていきたい。素晴らしい意見を頂いたので、これから旭川市民ともっと交流してもらい、より良い旭川市を作っていきたい。

4 閉会